

永山西小学校校舎と体育館の工事が完成しました

永山西小学校のみなさん、校舎と体育館の工事でいろいろと協力していただきありがとうございます。

令和5年7月から始まった校舎と体育館の工事が完成しました。

工事現場では多くの方がたずさわりました。前回の記事では躯体工事^{くたい}までの状況をお知らせしていました。

今回はすべての工事の様子を更新しましたので、ぜひ見てください。



着工

工事全体を通して活躍



建築士

建築基準法をはじめとした法令を守りながら建築物を設計し、工事が適切に行われているか監理します。



現場監督／監理技術者 (建築施工管理技士等)

設計者の設計意図を理解しながら、現場監理や工程管理、安全指導までこなします。

詳細を見る →

1 工事監理(こうじかんり)

設計どおりに工事が進んでいるか確認する仕事です。

永山西小学校の工事では、旭川市建築部公共建築課と設備課の職員が工事監理をしています。

2 工事監督(こうじかんとく)

発注した工事が、安全に品質を確保し、契約書や法令を守りながら進んでいるかを確認するなどの仕事です。

永山西小学校の工事では、旭川市建築部公共建築課と設備課の職員が工事監督しています。

3 現場監督(げんばかんとく)

設計どおりに建物を建てるために、安全に品質を確保し、工程を管理し、職人を手配し、工事書類を整理するなど、たくさんの仕事をこなします。

永山西小学校の工事では、つぎの企業体の方々が現場監督をしています。

建築工事

永山西小学校(A)増改築工事

～盛永・新谷・田中・東成共同企業体

永山西小学校(B)増改築工事

～橋本川島・タカハタ・吉宮・岸田共同企業体

電気設備工事

永山西小学校増改築電気設備その1工事

～西山坂田・東洋・天日 共同企業体

永山西小学校増改築電気設備その2工事

～亀谷・中央 共同企業体

機械設備工事

永山西小学校増改築衛生設備工事

～木本・大協・道北機械共同企業体

永山西小学校増改築暖房設備工事

～大洋・龍後・新日章共同企業体

永山西小学校増改築機械設備工事

～飯塚・大建共同企業体

基礎工事（とび・土工・コンクリート工事）

建物としての機能を十分に発揮できる土台をつくり、建物の転倒、沈下を防ぎます。



土工事

[詳細を見る →](#)



基礎工事

[詳細を見る →](#)



とび

[詳細を見る →](#)

現場の風景



永山西小学校ではR5年に工事しています。
実際には、基礎工事の前に仮設工事も行っ
て、安全に工事がすすめられるよう、工事の
範囲を白い板で囲ったり、職人さんが使う仮設トイレを設置したりしていま
す。

基礎は鉄筋コンクリートで、地面から2.5mも下の丈夫な地盤につくってい
ます。

躯体工事

木や鉄骨、鉄筋コンクリートなどの材料を使って、柱や梁（はり）といった建物の骨組をつくります。



鉄筋工事

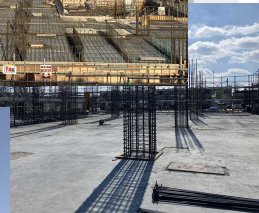
[詳細を見る →](#)



大工工事
(型枠大工)

[詳細を見る →](#)

現場の風景



永山西小学校ではR6年7月中旬まで躯体工事が施工されました。
永山西小学校の躯体は、校舎が鉄筋コンクリート造です。鉄筋を組んで、

型枠をとりつけて、コンクリートを流して、コンクリートが固まったら型枠をはずして躯体が完成します。

体育館は鉄骨造です。鉄骨工場で加工した鉄骨を、現場で組んで完成します。重たい鉄骨をクレーンで吊り上げるので、クレーンは130トンクレーンというとても大きなクレーンがきました。とび職人が高いところでボルトをしめて鉄骨を組み立てる姿はとてもカッコ良かったですよ！

外装工事

屋根や外壁など、建物の外側をつくることで耐久性を高め、外観の美しさにも貢献します。



外壁工事

[詳細を見る →](#)

現場の風景



永山西小学校ではR6年7月下旬から11月上旬まで外装を施工し、11月中旬には足場がなくなって学校の外壁がお披露目されました。永山西小学校の外装は、吹付タイルと呼ばれる塗装で、いくつかの工程を経てできあがりました。色は、設計者や市の職員で話し合っ、既存の校舎の面影を残した色合いで決定されました。

屋上は、改質アスファルト防水とウレタン防水という二種類の防水と、一部が板金屋根で、建物内に雨や雪解け水が浸入しないように施工されています。炎天下で日陰がない中、職人さんたちが汗水を流して施してくれました。

内装工事

天井や壁、床など、建物の内側を仕上げることで、人々が快適に過ごせる空間をつくりだします。



左官工事

[詳細を見る →](#)



塗装工事

[詳細を見る →](#)



内装工事

[詳細を見る →](#)

現場の風景



永山西小学校ではR6年8月下旬から今年の1月まで内装を施工しました。

下地を作ったり、断熱材を施したり、ボードを張ったり、壁紙や床ビニルシートを張ったり、塗装したり、窓や出入り口を作ったり、ランドセルや掃除用具をしまう家具をつくったり、、、本当にたくさんの職人さんが丁寧に仕上げてくれました。体育館の床は、木材のフローリングを張るのも大仕事です。釘が出てけがしないように、ダボという埋木で釘を隠して張っています。その後は、表面を削って、塗装して、また削ってを繰り返し、ピカピカの床に仕上がりました。

体育館の床はナラ材、体育館の壁と児童玄関ホールの天井の羽目板はカラマツ材を使用しており、どちらも道産材を使用しています。

設備工事

電気や空調など、建物の設備を整え、人々のライフラインを支えます。



電気工事
設備工事

詳細を見る →

現場の風景



設備工事は給排水設備、暖房設備、照明設備や電話等の回線設備など、たくさんの設備機器を設置する工事です。

すごしやすい建物にするには、これらの設備機器がかかせません。職人さんたちは、狭いところにも多くの線を配置したり、みなさんが勉強する机を明るく照らせる位置に照明を配置したり、暖かい空気が教室にまんべんなく行き渡るように暖房機を配置します。そして、それらが不具合なく運転するように試験運転を繰り返します。

外構工事

植物や石などを生かして美しい景観をつくりだし、建物の周囲の環境を整えます。



外構工事
造園工事

詳細を見る →



現場の風景

永山西小学校では、R6年の秋頃からR7年の3月にかけて一部施工しており、R7年度中には駐車場が完成します。工事監督は旭川市土木部公園みどり課の職員で、別の工事で施工しています。

みなさんにご協力いただいたおかげで、事故もなく無事に工事が完了しました。

R7年度は、プールの新築工事や旧校舎の解体工事などが始まります。

まだまだ工事は続きますが、安全に気をつけながら、みなさんが喜ぶ顔をたのしみに、多くの建設業の人々が力をあわせて工事を進めていきますので、ひきつづきご協力よろしくお願いいたします！

工事の状況などは旭川市公共建築課・設備課合同Instagramや、永山西小学校のホームページなどで配信していきますので、ぜひ見てみてください。

※工事の説明のイラストは建設産業人材確保・育成推進協議会が運営している「建設業ではたらくための18歳のハローワーク」のホームページ(<https://genba-go.jp/18hellow/>)より転用しています。このサイトには建設現場のたくさんの人々が紹介されていますので、見ていただくと、より永山西小学校の工事について知ることができます。

※旭川市公共建築課・設備課合同Instagramはこちらです。

kokyoken_setb_asahikawa



旭川市建築部公共建築課・設備課